

# 一般質問



## 国の中小企業対策事業は発展のチャンス バイオマス事業に取り組み

藤原 万正

### 中小企業対策は

**質問** 中小企業庁が目玉とする施策の一つが地域資源の掘り起こしである。

十九年度から中小企業地域資源プログラムを創設し五年間で千件の新事業創設を目指すと聞いている。この点について当局の見解をお伺いしたい。

**市長** この件については詳細を把握していない面もあるのですが、内容がわかり次第検討を加え市内の企業よびかける。またこの事業とは別であるが、小規模事業者新事業全国展開支援事業を商工会が国に採択され実施しているのですが、市でも一緒に支援している。

### 団塊の世代を仙北市に

**質問** 都市から農村に人を呼び戻す事業がある。

農村への定住者を平成二十八年までの十年間で百五十万人増、二地域居住者（都市と農村両方に住居を持つ者）を三百万人増にする事業だが地域活性化の起爆剤になるや否や見解と対応をお聞きしたい。

**市長** 市民農園や農産物加工施設等の施設整備を行いながら団塊の世代などに我々の地域に目を向けてもら

えるような定住環境整備に努めていきたい。

### 有機農業の取り組みは

**質問** 有機農業推進法が成立した。消費者が割高

な農産物を選ぶか疑問はあるが、環境への付加の軽減にも意味はあると思う。当市の取り組みは。

**市長** 国全体では有機農業への取り組みはまだまだ低いですが当市では畜産農家の堆肥、厩肥等ほとんど活用されている。

今後は環境負荷低減（エコフアーマー等）に向けた計画策定実施について対応したい。

### 今注目のバイオマス産業

**質問** 地球温暖化への対策が急がれている。わが

国は京都議定書の目標達成計画に基づき二〇一〇年まで自動車燃料のうち年間五十万キロリッターをバイオ燃料と置き換えるとしているが、全面積の内八十%が森林面積である当仙北市はバイオマスを利用し産業として取り組むべきと思うが見解は。

**市長** バイオマス発電、バイオマス活用について検討中である。まもなく報告書ができるが真剣に取り組む

たい。

注：バイオマス：植物をエネルギー資源と見て石炭、石油化した部分を除いた未利用エネルギー資源の事をいう。

現在建築廃材やサトウキビなどからとれるバイオエタノールが自動車燃料の代替品として製造され、商業化寸前である。

### 防災体制は大丈夫か

**質問** 防災関係について伺いたい。過去の地震の際

秋田県は市町村の対策の遅れで危機管理にゆゆしき問題があったと聞いている。当市の体制はどうか。

**市長** 消防庁は消防団員の「目指せ百万人」を掲げ、消防団員入団促進キャンペーンをスタートさせた。当市の実態と取り組みは。

**市長** 対策本部等組織についてでは昨年の豪雪に対応した組織が既にできている。防災計画の危機管理は若干遅れているが三月末までには素案を仕上げ、県と協議予定である。

又災害備蓄については仙北市全体で七百三十人分であり、毛布、タオル、水バック、非常用ろうそく、土のう、テントなどが準備済である。

消防団員の平均年齢は十四四・七歳、充足率八十四・六%である。高齢化が全国以上の地域なので補充がむずかしい。団員確保の活動はしながらも自主防災会等と連携をとりながら補完する方法を考えていきたい。

### 国の新少子化対策当市は

**質問** 生後四ヶ月の赤ちゃん訪問事業がスタート

するが当市での取り組みは。  
**市長** 国の新制度であり、内容把握に努め対応が遅れないようにする。

現在の関連事業は生後一ヶ月内の訪問、四ヶ月内の乳児検診、三ヶ月経過後の予防接種を実施している。



仙北市地域エネルギービジョン策定委員会の研修